

商店街活性化事業計画の概要

地域

福岡県北九州市

認定日

平成23年3月31日

事業名：地域住民主役型賑わい創出事業 ～地域の歴史・文化資源を活かした「城下町 京町風情」～

事業者名：京町銀天街協同組合（福岡県北九州市）

事業実施期間 平成23年4月1日～平成25年12月31日

■商店街活性化事業の概要

城下町の古き良き文化と歴史を発信し、京町風情に多くの人々がふれあい、交流する商店街をコンセプトとし、活性化を図る。商店街店主による経営講座や、専門家が歴史・文化等について市民講座を開催する寺小屋事業を実施。また、地域資源を活かした食のブランド化、マルシェ等を実施し商店街内での交流促進を図る。さらにカラー舗装やアーケード改修、照明のLED化、夜警活動等で、安全安心なまちづくりのための取り組みもあわせて実施する。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

アンケート調査では、京町らしさを活かしたイベントや「産直市や生鮮朝市」などの食に関する賑わいや、カラー舗装整備、夜間の安全対策など、「安心・安全」なまちづくりなどを望む声が多かった。

◆実施計画の主な内容

○京町寺小屋事業

- ①商店街の経営者（職人）が講師となり、経営講座を開催するとともに、専門家等が講師となり、京町の歴史や商店街活動等について、市民講座を開催する。
- ②京町の歴史・文化をPRするため、大学生やNPO法人などが連携し、寺小屋イメージイベント「常盤橋千年明り ～京町風情を活かしたイルミネーション～」と京町男茶会を実施

○京町マルシェ事業

- ①藍島漁港女性部と連携し、地域資源を活かした食文化イベント「町衆・海衆秋まつり」を実施
- ②藍島や大学等と連携した京町の名物（食のブランド）づくり
- ③農家や漁港と商店街が連携し、野菜や干物、加工食品などを集めて「生鮮朝市」を開催

○「安心・安全、快適な京町銀天街」の取り組みとしてNPO法人と連携し、街内の落書き落とし事業、夜警活動、安心・安全のための情報発信を行う。また、歩行者の安全確保のため、アーケード改修や常夜灯のLED化を行う。

○「京町風情」の特徴を活かしたカラー舗装工事

■商店街活性化事業計画の目標

- ①歩行者通行量：H22年度を基準に3年間で2%アップさせる（H25年度目標：10,747人）
- ②京町寺小屋受講者数：3年間で延べ380人の受講生を受け入れる
- ③ブランド商品数：H24年度 10品のブランド商品の試作、H25年度 5品の商品化、PR、販売

【寺子屋イメージイベント】



【京町マルシェ事業】



【安全・安心のための夜警活動】

